

# 高畑 勲 監督インタビュー

## かぐや姫のほんとうの物語





# 高畑 勲 監督 インタビュー

## かぐや姫のほんとうの物語

日本のアニメーション界の礎を築き、半世紀以上に渡って牽引し続けてきた高畑勲監督。その作品を見て心を動かされた方は多いのではないのでしょうか。最新作『かぐや姫の物語』の公開から2年が経ち、80歳になられた今も、長い間あたためてきた企画に取り組みされているそうです。ご自身を「おしゃべり」と評し、「高価な花よりも野に咲く花が好きだ」とおっしゃいます。

4月17日の講演会に先立ち、スタジオジブリ第1スタジオでお話をうかがいました。

### 三重での少年時代

——高畑監督は三重県でお生まれになりました。三重での少年時代の思い出をお聞かせください。

僕は昭和10(1935)年、今の伊勢市で、宇治山田市と言っていた頃生まれたんです。父の転勤で2歳の時に津に移って、国民学校1年生の3学期に岡山に移る7歳まで、三重県にいました。伊勢の遷宮の御木曳を引かせてもらった覚えがあります。それから、津の海岸はものすごく遠浅の海だったんですよ。阿漕浦や賀崎はいくら歩いても波まで行かない。泳がなくなつて渚で遊ぶだけで、そりゃもう面白くて。おかげで三重県では泳げるようにならなかった(笑)。あんな素晴らしい遠浅っていっぱいあったんだろうけど、もう日本にないですよ。

津では、お城のお堀に面した武家屋敷の一つを借りて住んでいました。立派な家ですね。僕は岡山で空襲に遭って九死に一生を得ただけで、『君が戦争を欲しないならば』岩波ブックレット参照)終戦後、父に連れられて津を訪れたんです。空襲がすごくて、知り合いが何人も亡くなった。西堀端の家々は跡形もなく、爆弾の落ちた穴が大きなり鉢のようにあいて、水がいっぱいたまっていた。その後伊勢湾台風があったりして、すっかり変わってしまい、今は全く面影がないですね。

### アニメーションとの出会い

——なぜ、アニメーションの世界に進もうと思われたのですか？

自分でも不思議です。高校の頃に映画を見るようになって、

て、大学に入ってからには浴びるように見た。その頃は、安い料金で古い傑作を見せてくれる映画館がたくさんあって、面白い勉強にもなるので何回も同じものを見て、映画を大好きになっていったんです。

そんななか、フランスの『やぶにらみの暴君』という、当時は漫画映画と呼ばれていたアニメーション映画を見てびっくりするんですね。びっくりしたんですよ、本当に。今と違って、普通の人はアニメを子どものものだと思っているわけ。『やぶにらみの暴君』はすごい辛口でね、大人向けなんです。絵も動きも本当によく斬新で、しかも考えさせられる。現代社会を描いていたんでね。とりつかれて何回も何回も見ました。

映画ファンだったんですね。エキストラもやりましたし、撮影の見学にも行ったね。見学に行くと、映画監督って、図太い奴でないとダメな感じがするんですよ。どんどん人を動かして。やっぱり自分には向いてないな〜と思って、監督の夢はあきらめていました。後で分かるんだけど、ただ図太いだけの人間なんていやしないし、その方が監督には向いていないんですが…。



三重での思い出を寄せた「巨匠たちの風景」(伊勢文化舎)のページをめくる。

——しかし、向いていないと思われた監督になられました。

卒業しても何をやっていいか分からなかった。若い人がモラトリウム世代とか言われたりしていますが、僕も同じで、そのために大学4年生を2回やっているんです。2回目の時、学生課に東映動画という会社の演出助手の募集が出て、友だちが、「お前、面白がってたじゃないか、『やぶにらみの暴君』。受けてみようよ」と言ってね。大学院に残って日本美術史をやるかとも思っていたけど、受かって内定が来たらたちまち向学心を失って、面白そうだからこれでいいんじゃないかなって。



「昔の映画監督はね…」と、サングラスをかけて表情を読まれないようにしていた当時の映画監督たちのまねをする高畑監督。

——TVシリーズ『アルプスの少女ハイジ』、映画『じゃりン子チエ』、『火垂るの墓』、『ホーホケキョとなりの山田くん』など、幅広い作品を監督・演出されていますが、作品はどのように選ぶのですか？

自分で提案した企画は、最初の長編『太陽の王子ホルスの大冒険』と『パンダコパンダ』(宮崎駿と)や自主制作の



総文主催の  
事業を  
報告します

## Music Artist in Residence MIE

三重県文化会館とタッグを組み、ピアニスト田村緑さんが、三重県内に35日間滞在したミュージック・アーティスト・イン・レジデンス。県内外でのホールコンサート、多岐に渡るアウトリーチ・プログラム、様々な人を対象とした人材育成ワークショップ等、多彩な活動を展開した田村さんに感想を伺いました。

### —35日間に渡るレジデンス・プログラムが終わりました。今の感想は？

感動的なことがありすぎて、まとめられない(笑)!とにかく全力投球の日々。それは、一つ一つ丁寧に積み木を積み上げていくイメージでした。今は、やり切った、やり残したことはない、と感じていますが、完結したとは思っていません。むしろ、この期間を通して生まれた「熱き出会い」や「繋がり」がどうなっていくのか。考えるだけでもワクワクします。

### —レジデンスがもたらした成果は、どんなことでしたか？

一箇所に長く滞在することにより、1つ1つの企画とじっくり向き合い、諦めること無く最後まで考え続ける時間が得られたこと。また、一つの企画を「点」とすると、今回の多様な企画を通して「点」と「点」、「人」と「人」が結びつき、「線」や「面」の様に「コミュニティ」が広がったこと。1ヶ月という長い時間を登山に例えると、1つの目標は山頂まで登り切ることでした。でも、いざ登ってみると、その先に続く山の峰々が見えました。私自身の可能性、音楽の可能性、また、三重にいらっしゃる素晴らしい方々の可能性。もっとやりたいこと、もっとできることに気づけた。それが一番の成果かもしれません。

### —この35日間を漢字一文字で現すと？

「刻」。演奏とは何もない空間に音を刻むこと。刻んだ音が皆さんの心にも刻まれていたら嬉しいですし、今回のレジデンスの全てが、私の心に刻まれました。一生忘れることのない素晴らしい35日間を有難うございました。

漢字一文字にすると…

きざむ  
「刻」



Mニュースvol.112号に特集が掲載されています!

### 35日間熱い出会いに包まれました!



and more...

『セロ弾きのゴーシュ』、それから『かぐや姫の物語』くらいでしょうか。あとは企画というか、原作など、素材が会社から提案されるんですね。それをやるかやらないか、消極的選択しかないわけです。やりたいと思っても、それがアニメとして面白いものになる可能性があるかどうか、どうすれば面白いものにできるかどうかを徹底的に考える。そうしてはじめて、やる、という決断をするんです。その時、僕自身が主体的に「企画」を成立させたんだ、というつもりなんです、図々しいけど。

例えば『ハイジ』は、子どもの時に原作を読んで面白かったけれど、動物が出てくるわけでもないし、何にも不思議なことは起こらない。アニメに登場する犬のヨーゼフだって、僕らがつくったんですから。当時、基本的にはリアリズムしかないようなものをアニメにしたってうまくいきっこないって、誰もが思っていたわけです。そういう時代で、僕もそう思っていた。アニメーションでやる以上、一種の飛躍があつて、それによって子どもの心をつかむとか解放するようなものじゃなくちゃいけない。ではどうやってそういうファンタスティックな要素のないものを面白いアニメにするか…、うんと考えなくちゃいけないですよ。僕自身は、そういうことを真面目にやってきたつもりです。僕の作品は内容もスタイルもいろいろ違いがあるように見えて、ある意味では一貫しているはずなんです。

——作品の受け止められ方が時代によって変化したり、社会的な意味を持ったりすることについては、どう感じますか？

そうですね。封切った時にはそれほどリアルでなく受け止められたものでも、状況が変われば、見る人にとって、それがリアルに見えてくるっていうことがあるんです。その例が『火垂るの墓』ですね。神戸の震災が起こった後、ものすごくリアルに見えてきたと言われた。『平成狸合戦ぽんぽこ』は、エコロジカルな側面だけでなく、30年間の日本の政治的な対立というのか、何かあることを成し遂げようとした時に、運動がどうなっていたのかという問題を扱っているつもりなの。90年代半ばはそういうことが最も下火になった時代で、誰も問題にしなかった。ところが最近、安保や沖縄の問題のように、また運動する人たちが増えている。それで今は「そういうことを描いていたんですね、それにやっとな気が付きました～」なんて感想を言われたりするんですよ。

『赤毛のアン』は、最初からアン世代の女の子に受けるためでなく、アンとマリラとを平等に描いているんです。アンの子どもの時に見ても面白かったと思うんだけど、成長して子どもを持ったりした後で見ると、「まるで違って見えて、なおかつ面白く見える」って言うってくれるわけ。アン立場で見ると、マリラの立場で見ると。どちらでも成り立つ。リアリズムみたいなものを基本的な意味できちんと踏まえていれば、そういうことが起こる。見る人の感じ方は時間が経てばある程度変わること、こちらは予期してつくっているんです。

## いつも新しい「表現」を追い求めていた

——前作『ホーホケキョとなりの山田くん』は通常のセル画ではなく、手描きの絵が動いているようでした。『かぐや姫の物語』はスケッチ風の淡い絵で、これまで見たことのない美しい絵の映画だと感じました。アニメーションの世界で、半世紀以上その技術の発展とともに歩んでこられたが、意識して常に新しいことにチャレンジしていらしたのでしょうか？

「表現」って言葉が好きなので、表現という言葉を使いますが、いつも新しい表現を追い求めていたことは確かです。これは、僕が絵描きじゃないから挑戦できたことかもしれません。それぞれの物語は、本当は、その物語が必要とする表現を要求するはずなんです。それを見出す必要があると思うんです。それを見出すために、絵を描く人たちに、今までの作品のいつも描いているような絵を描いてもらう。「面白く、新しいものになるんじゃないか」ということに向かって、スタッフとともに努力をするわけです。それは面白い仕事なんですよ。

——『かぐや姫の物語』の制作現場・第7スタジオは、監督に憧れ、監督の作品をつくるためだけに集まったフリーの精鋭集団です。第7スタジオについての思いをお聞かせください。

ちょっと誇張していえばそうですね。今でもまだ時々集まったりするんです。すごく仲がいいんですよ、みんな。7スタ(スタジオジブリ・第7スタジオ)の時の仕事がきつと充実してたんですよ。僕、恵まれているんです。他の作品でも、同窓会をやるとみんな本当に嬉しそうに顔してね。いつも苦労ばかりかけて、大変な思いをさせてしまうんだけど、思い切って力を出さなくちゃいけないし、本当に出した経験っていうのは、貴重なものなんですよ。そのような体験をしてもらう機会を、つくられたのかもしれないと思うんです。



「かぐや姫の物語」© 2013 畑事務所・GNDHDDTK

——『かぐや姫の物語』は構想55年、前作から14年ぶりの作品で、制作に8年かかっています。映画をつくっている時の喜びと完成した後の喜びはどういうものですか？

全く違うよね。つくっている時の喜びというのはなかなか難しい。喜びと不安と両方が常にあるんで。今やっている充実感と出来上がりに対する期待っていうのはすごくあるんだけど。だから、やり終わったらさみしいですよ。でも、出来上がった喜びはすごい。「よくこんなものができたな」って。自分だけじゃなくて、才能あるスタッフが意欲をもって献身的にやってくれたからこそできた。ものすごくありがたいことです。「よくできたな～」、「みんなよく頑張ったな～」って、すごい嬉しさがあるわけですよ。

## かぐや姫のほんとうの物語

——なぜ、『かぐや姫の物語』をつくられたのか。講演会の後、映画をご覧になる皆さんに、ひとことお願いします。

『かぐや姫』を子どもの頃読んで面白かったですか？大人になって『竹取物語』を読んで面白かったですか？大抵の人は面白くなかったと言います。でもね、この話、面白いんですよ。実はうらに本当のお話があるんだ。本当のかぐや姫の物語を、この映画で展開するから、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

### 高畑 勲 プロフィール

アニメーション映画監督。1935年、三重県伊勢市に生まれ、岡山で育つ。1959年に東京大学仏文科卒業後、東映動画へ入社。テレビ「狼少年ケン」で初演出。劇場用映画「太陽の王子ホルスの大冒険」(1968)で初監督。以後、「アルプスの少女ハイジ」(1974)、「母をたずねて三千里」(1976)、「赤毛のアン」(1979) (以上、TV演出)、「セロ弾きのゴーシュ」(1982)、「じゃりン子チエ」(1981)、「火垂るの墓」(1988)、「おもひでぽろぽろ」(1991)、「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994)、「ホーホケキョとなりの山田くん」(1999)を発表。

2013年には待望の最新作「かぐや姫の物語」が公開され、毎日映画コンクールアニメーション映画賞、ロサンゼルス映画批評家協会賞(アニメーション映画部門)等を受賞し、2015年同作品は第87回米国アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞にノミネートされた。

その他、プロデューサーとして「風の谷のナウシカ」(1984)、「天空の城ラピュタ」(1986)を制作。また、スタジオジブリの洋画アニメーション提供作品として「キリクと魔女」(ミッシェル・オスロ監督)の日本語版翻訳・演出(2003)、「王と鳥」(ポール・グリモー監督、ジャック・プレヴェール脚本)の日本語字幕翻訳(2006)、三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー提供作品「アズールとアスマール」(ミッシェル・オスロ監督)の日本語版翻訳・演出(2007)も手がける。

著作に「映画を作りながら考えたこと」「十二世紀のアニメーション」(以上徳間書店刊)、「ジャック・プレヴェール ことばたち」(びあ刊、訳および解説と注解)、「ジャック・プレヴェール 鳥への挨拶」(びあ刊、編・訳)、「一枚の絵から/日本編」「一枚の絵から/海外編」『アニメーション、折りにふれて』(いずれも岩波書店刊)などがある。

1998年、紫綬褒章受章。国内外で受賞多数。2015年春にはフランス芸術文化勲章オフィシエを受章。



4/17 [日]  
中ホール

三重のまなび講演会2016

第1部／高畑 勲 講演会「映画を作りながら考えたこと」

13:00～14:15 (12:30開場)

第2部／映画『かぐや姫の物語』上映

14:30～16:50 ※プログラムの都合上、終了時間は変更になる場合があります。

全席指定 一般1,500円、学生(25歳未満)1,000円

※第1部(講演)と第2部(映画)の通し券です。

三重県生涯学習センター 059-233-1151

販売状況によっては、チケット発売を終了している場合があります。何卒ご了承ください。

チケット取扱い

- 三重県文化会館チケットカウンター 電話 059-233-1122
- 三重県文化会館WEBチケットサービス エムズネット <https://www3.center-mie.or.jp/tickets/>
- チケットぴあ(Pコード:631-533) 電話 0570-02-9999
- コンビニエンスストア(サークルK・サンクス、セブンイレブン)



よもしぽ

総文主催の事業を報告します

## ミエ・アート・ラボ



## ミエ・アート・ラボとは？

「子ども」や「アート」に関わるさまざまな立場の人が「アート教育」という一つのテーマについて、ともに学びあい、つながりあうことを目的とした研修会です。現在、さまざまな分野で注目されている手法「ワークショップ」を中心に、有数の実演家・演奏家によるプログラムや講義に加えて、アートの多様性を活かしたプログラムをともに話し合い考えるテーマ別のラボ(=実験室)を開設しています。

開催日 2016年2月6日(土)～7日(日)

開催場所 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール 他

講師 田村緑(ピアニスト)、南波圭(俳優)、中里和人(写真家)、新井英夫(体奏家)、吉野さつき

「ミエ・アート・ラボ」は今年で3回目。

今回は、音楽・演劇・美術・ダンスという異なる分野に分かれ、「小学生(子ども)を対象とした、多様性、共生を学ぶプログラム」を2日間で開発・相互発表するという実験的、かつ本格的な内容で開催しました。県内はもちろん、東京、福井、広島からの参加もあり、アート教育への社会的関心や意識の高まりが伺えました。ワークショップ開発が進む中、新しい手法や言葉に出会い、自分自身の考え方や感じ方が解放されていくにつれ、参加者同士の強いつながりや一体感が生まれていきました。

手法や分野に限らず、共通して「大切にしなければいけないこと」を考え、参加者同士が直面する課題に対し、模索しながら話し合ったりする様子があちこちで見られ、「アート」の持つ可能性や多様性を目の当たりにした2日間でした。

音楽



素材は1つの難曲。曲の個性を生かすワークショップを3グループそれぞれ違った角度で作りました。

ダンス



「ほぐす」「つながる」「つくる」の3段階を実践。動きやポーズから人とのつながりを感じたり、考えたりしました。

演劇



おとぎ話のワンシーンを演じる体験などを通じ、「自分たちが真剣に楽しむ」「失敗を肯定する」など大切なことを理解しました。

美術



テーマは写真。基本となる写真を読み解く目を学び、最後には、参加者全員の写真を使ったひとつの写真展を作りました。



写真：松原 豊

# 4月のイベント情報 Event Information

3 [日]	津児童合唱団 第48回定期演奏会	大ホール	13:30開演(13:00開場) 全席自由 500円 ☎津児童合唱団 059-225-8878(川合)
3 [日]	野村敦子バレエ教室 第23回発表会	中ホール	15:00開演(14:30開場) 入場無料 ☎野村敦子バレエ教室 059-255-3495
9 [土]	第19回津高吹奏楽定期演奏会	大ホール	14:00開演(13:30開場) 全席自由 500円 ☎三重県立津高等学校吹奏楽部 059-228-0256
9 [土]	第18周年 ひぐらしハーモニカ教室合同発表会 ハーモニカに心をのせて	小ホール	12:30開演(12:00開場) 入場無料 ☎ひぐらしハーモニカ教室 090-7030-7096(今井)
10 [日]	ご当地 よしもと新喜劇 in 津 第5回 お笑いフェスティバル	大ホール	【1部】13:00開演(12:15開場) 【2部】16:30開演(16:00開場) 復 全席指定 1階席6,500円、2階席4,500円、3階席3,500円 ※1部、2部共通 ☎お笑いフェス実行委員会 059-43-3388
10 [日]	親睦ダンスパーティ	多目的ホール	13:00~16:00 参加費 1,000円 ☎サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)
16-17 [土]・[日]	ディズニー・ライブ! ミッキーのミュージックパーティ!!	大ホール	【16日】10:30開演、13:30開演、16:30開演 【17日】10:30開演、13:30開演(開場は各45分前) 往 復 全席指定 S席5,200円、A席3,800円、グループチケット(4枚セット券) S席18,000円、A席12,000円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
16 [土]	第3回伊勢志摩サミットフォーラム	中ホール	13:00開演(12:00開場) 予定 入場無料 ※要整理券 ☎伊勢志摩サミット三重県県会議事事務局 059-253-5496
17 [日]	三重のまなび講演会2016 高畑勲講演会 「映画を作りながら考えたこと」&映画「かぐや姫の物語」上映	中ホール	13:00~16:50(12:30開場) 復 全席指定 一般1,500円、学生(25歳未満)1,000円 ☎三重県生涯学習センター 059-233-1151
23-24 [土]・[日]	ハイバイ「おとこたち」	小ホール	【23日】14:00開演、18:00開演 【24日】14:00開演(開場は各開演の20分前) 自由席 一般2,500円、25歳以下1,500円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
24 [日]	平成28年度みえ文化芸術祭 みえ音楽コンクール入賞者記念演奏会vol.17	大ホール	14:00開演(13:30開場) 全席自由 1,000円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
24 [日]	三重のまなび2016 「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」講師:高西聖司	多目的ホール	14:00~16:00(13:15開場) 全席自由 1,000円 ☎三重県生涯学習センター 059-233-1151
27 [水]	穂吉敏子&ルー・タバキン ジャズコンサート	小ホール	18:30開演(18:00開場) 往 復 全席指定 4,000円 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

## ギャラリーイベント情報

3/30-4/3 [水]~[日]	星野富弘 花の詩画展	ギャラリー2	9:00~17:00 前売500円(当日600円)、中学生以下は無料 ☎富弘美術館を囲む会・三重 059-293-2296(田上)
6-10 [水]~[日]	第34回泉会日本画展	ギャラリー1	9:30~17:00(最終日は9:30~16:00) 入場無料 ☎泉会 0598-21-5203(加藤)
6-10 [水]~[日]	第44回三重県彫刻会彫刻展	ギャラリー2	9:30~16:30(最終日は9:30~16:00) 入場無料 ☎三重県彫刻会 0596-36-2676(事務局:浅野)

🎓 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 👶 託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(0歳から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 🎵 クラシック後半割 休憩後からの入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。)

🕒 …開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 🕒 …終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 🗺 …問い合わせ先

🏠 主催…三重県総合文化センター主催事業 🏠 大ホール 🏠 中ホール 🏠 小ホール 🏠 多目的ホール 🏠 第1ギャラリー 🏠 第2ギャラリー

**5/21 [土]~6/5 [日]** 第1ギャラリー 第2ギャラリー 大会議室  
 平成28年度みえ文化芸術祭  
 伊勢志摩サミット開催記念  
**第67回みえ県展**

9:30~17:00(※月曜休館 最終日は15:00まで) ※入場は開会の30分前まで  
 一般 200円、学生無料 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

**ギャラリートーク(作品鑑賞会)**  
 5/28(土)  
 10:00~12:00 日本画  
 13:00~15:00 写真  
 5/29(日)  
 10:00~12:00 彫刻  
 13:00~15:00 工芸  
 6/4(土)  
 10:00~12:00 書  
 13:00~15:00 洋画

**県展ワークショップ**  
 日本画 5/29(日) 10:00~16:00  
 岩絵の具で和紙のはがきにぬり絵をしよう  
 材料費:500円 講師:津田親重  
 書 6/4(土) 10:00~16:00  
 刻字・落款印を彫ろう  
 材料費:各1,000円 講師:中川京童

**会場は共に三重県文化会館2階 中会議室**

## 5/22 [日] 大ホール 学芸 CLASSIC

### ベルリンフィルハーモニー管弦楽団メンバーによる 《至高の室内楽》

14:00開演(13:30開場)  
 全席指定 一般 3,000円、学生(25歳未満) 1,000円  
 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

**【出演予定メンバー】**  
 第1ヴァイオリン: アンドレアス・ブーシャツ  
 第2ヴァイオリン: クリストフ・ストロイリ  
 ヴィオラ: ウルリッヒ・クノルツァー  
 チェロ: ダヴィッド・リニカー  
 コントラバス: ヤンネ・サクサラ  
 トランペット: ギヨーム・ジュール  
 フルート: アンドレアス・ブラウ

2014年に行われた公演で圧巻の演奏を届けてくれたベルリン・フィルのメンバーが再び三重へ!! 精鋭たちにより紡ぎだされる至高の音色をお楽しみください。

写真は出演メンバーの一部です

## 6/4 [土] 多目的ホール他

### フレンテまつり

10:00~16:00(予定) 入場無料(物品の購入など一部有料)  
 【託児あり】要事前申込 1歳6ヶ月~小学校3年生程度、1人につき500円(おやつ代含む) ※5/21(土)託児申込締切  
 ☎三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」  
 TEL059-233-1130 FAX059-233-1135

今年のフレンテまつりは登録団体の皆さんによる活動発表や展示・販売ブースに加え、いらなくなったおもちゃを他のおもちゃと交換できるエコバザールや、親子で楽しく参加できる防災ワークショップなどのイベントが盛り沢山! 老若男女に関わらず自分らしく生きる男女共同参画社会について、楽しみながら一緒に考えてみませんか?ぜひご家族みんなで気軽にお越しください。

※写真は去年の様子です

## 4月~6月の主催事業ピックアップ

### 4/23 [土]・24 [日] 小ホール

#### ハイバイ「おとこたち」

【23日】14:00開演、18:00開演  
 【24日】14:00開演(開場は各開演の20分前)  
 整理番号付自由席 一般3,000円、25歳以下1,500円  
 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

2014年夏の初演が大ヒット! 熱いリクエストに応え、1年足らずで早くも再演が決定!今最も東京でチケットのとれない劇団のひとつ、ハイバイが4人のおとこたちの青春から老いるまでを猛スピードで描ききる。滑稽で、悲しくて、愛らしい、おとこの生き様。



© 曳野若菜

### 5/7 [土]・8 [日] 小ホール

#### 劇団ジャブジャブサーキット 「しずかなごはん」

【7日】18:00開演、【8日】14:00開演(開場は各開演の30分前)  
 自由席 一般2,500円(当日2,800円)、25歳以下1,500円  
 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

初演時の2004年、3都市を巡る定期公演として上演されるも、各地で好評を博し、翌年にはシアターグリーン柿落としを含め2都市で再演した劇団の代表作。摂食障害という深刻なモチーフを扱いつつ、知的でミステリアスな物語を紡ぐ。昨年は劇団創立30周年記念として、仙台、大阪で再演。若い世代からも普遍的な支持を得ています。



### 5/11 [水] ほか 男女共同参画センター「フレンテみえ」3F セミナー室C他

#### 女性のための 自己主張トレーニング[全5回]

10:00~12:00 無料 事前申込制(抽選) 申込締切4/14(木) 定員:24名  
 講師:具 ゆり(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA フェミニストカウンセラー)  
 【開催日】5月11・18・25日、6月8・22日(いずれも水曜日、全5回)  
 申込方法:電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口  
 対象:全5回参加できる県内在住、在勤の女性で自己主張トレーニングの受講が初めての方 ※別開催「女性のための自己尊重トレーニング」との重複申込不可。  
 【託児あり】要事前申込 1歳6ヶ月~小学校3年生程度、1人につき500円(おやつ代含む)  
 ※4/27(水)託児申込締切  
 ☎三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」  
 TEL059-233-1130 FAX059-233-1135

職場や家庭、周囲の人間関係の中で「言いたいことが言えない」と悩んでいませんか? 自分の気持ちも相手の気持ちも大切にして、相手に伝える力を身につけて育てるトレーニングです。



### 6/11 [土] 大ホール 学芸 CLASSIC

#### Canon Presents ウィーン少年合唱団

14:30開演(14:00開場)  
 全席指定 S席 5,000円、A席 4,000円 ※学生(25歳未満)全席2割引  
 ☎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

**【予定曲目】**《ウィーン少年合唱団と巡る四季》菅野よう子:花は咲く、岡野貞一:ふるさと、ヨハン・シュトラウスII世:美しく青きドナウ ほか

ウィーン少年合唱団が三重県文化会館に久々の登場。どこまでも透き通る癒しの歌声を心ゆくまでお楽しみください。

www.lukasbeck.com



春のそらぼれに行こうよ!  
**こいのぼりがいっぱい!!**

4.15金  
 5.8日

そうぶんを使ってみませんか?  
 三重県総合文化センターではホール、ギャラリー、会議室などバラエティ豊かな28施設が用途に合わせてご利用いただけます。お申込受付は1年前の月初から。早めの会場確保が可能です!

**おすすめ! 「おまかせサービス」**  
 お忙しい主催者様を全力でサポート! 催しに必要な各種手配はおまかせください!

弁当手配 装花手配 看板作成

会場設営、チケット作成などのサービスもあります

**施設利用サービスセンター ☎ 0120-319-489** 施設のご利用方法の詳細はホームページをご覧ください  
 三重県総合文化センター 検索 ▶▶ 施設を借りるをクリック!

大会議室 ご利用料	午前 (9時~12時)	午後 (13時~17時)	夜間 (18時~21時)
大会議室	17,600円	20,540円	20,540円
その他料金	8,800円	10,260円	10,260円

# 5/1 [日] 中ホール

## 「フレンテみえ」平成28年度ファンファーレ事業 IVAN(アイバン)講演会 IVANTITY(アイバンティティ) ～これが私の生きるRUNWAY(みち)～

13:30～15:00(12:45開場) 入場無料 事前申込制・先着順  
申込方法:電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口  
【託児あり】要事前申込 0歳～小学校3年生、1人につき1,000円(おやつ代含む)  
※4/17(日)託児申込締切  
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」  
TEL059-233-1130 FAX059-233-1135

トランスジェンダーであること。そしてカミングアウト。  
『自分を檻に閉じ込めるのは、もうやめた』

著書「IVANTITY(アイバンティティ)～これが私の生きるRUNWAY(みち)～」とはまた違った切り口で、モデルとしてバラエティでも活躍のIVANさんに語っていただきます。



\*トランスジェンダーとは?...数多くあるセクシュアリティのうちの一つで、生まれ持った体の性別と性自認(心の性別)が違うあり方のこと。ゲイ、レズビアン、バイセクシャル、トランスジェンダー等、多数派とされている性のあり方とは違うアイデンティティを持つ人々のことを総称して、性的マイノリティ、LGBTと呼ぶことがある。

# 5/14 [土] 生涯学習棟2F 視聴覚室

## 第58回シリーズ名盤を聴く ～重厚なドイツ音楽の正統派指揮者～ ヨーゼフ・カイルベルト特集

13:30開演(13:00開場) 入場無料 事前申込制・先着順 定員:143名  
講師:梶 吉宏(三重県文化会館 館長) 申込方法:電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口  
三重県生涯学習センター 059-233-1151

クラシック名盤を聴きながら、三重県文化会館 梶館長の解説で学ぶ人気のシリーズです。第58回は重厚なドイツ音楽の正統派指揮者で、ドイツ生まれのヨーゼフ・カイルベルトを特集します。カイルベルトの遺した名演奏をお楽しみください。



# 6/17 [金] 大ホール

## ローマ・イタリア歌劇団 「ラ・ボエーム」

18:30開演(18:00開場)  
全席指定 S席13,000円、A席10,000円、B席7,000円、C席5,000円  
※学生(25歳未満)全席2割引  
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

オペラの本場イタリアで「若手登竜門」として数々の逸材を生み出している「イタリア・スポレート歌劇場」を母体に選抜メンバーが加わって形成された歌劇団が三重県初登場。雑誌「音楽の友」で数年に1度おこなわれるクラシック音楽ベストテンで常に上位に名前が上がるブッチェリのオペラ「ラ・ボエーム」を上演します。



Photo by Riccardo Spinella

# 5月のイベント情報 Event Information

1 [日]	津東高校吹奏楽部 第20回定期演奏会	大ホール	13:30開演(13:00開場) 全席自由 500円 津東高校 059-227-0166(堀内・西尾)
1 [日]	「フレンテみえ」平成28年度ファンファーレ講演会 IVAN(アイバン)講演会 IVANTITY(アイバンティティ) ～これが私の生きるRUNWAY(みち)～	主催 中ホール	13:30～15:00(12:45開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 059-233-1130
1 [日]	第3回あいピアノ教室発表会	多目ホール	13:30開演(13:00開場) 入場無料 あいピアノ教室 059-233-2258(森川)
3 [火・祝]	第9回成果発表会	多目ホール	13:00開演(12:45開場) 予定 入場無料 ミュージックサロン音あそび教室 090-9180-8717
7-8 [土・日]	劇団ジャブジャブサーキット 「しずかなごはん」	主催 小ホール	【7日】18:00開演 【8日】14:00開演(開場は各開演の30分前) 自由席 一般2,500円(当日2,800円)、25歳以下1,500円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
8 [日]	第27回三重バツハ合唱団演奏会	大ホール	14:00開演(13:30開場) 全席自由 一般2,000円(当日2,500円)、学生1,000円(当日1,500円) 三重バツハ合唱団 059-386-5301(玉崎)
14 [土]	みえ看護フェスタ2016 あなたの心に残したい「看護との出会い」	多目ホール	13:00～16:00 入場無料 三重県看護協会 三重県ナースセンター 059-222-0466
15 [日]	伊勢管弦楽団 第35回記念定期演奏会	大ホール	14:00開演(13:15開場) 全席自由 一般1,500円(当日2,000円)、 高校生以上1,000円(当日1,500円)、中学生以下は無料 伊勢管弦楽団 080-4968-8548
15 [日]	設立50周年記念 伊勢津民謡会 民謡唄まつり	中ホール	10:00開演(9:30開場) 入場無料 伊勢津民謡会 059-234-2515(吉川)
15 [日]	親睦ダンスパーティ	多目ホール	13:00～16:00 参加費 1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)
19 [木]	ワンコインコンサートvol.67 コントラバス 石川 滋	大ホール	11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
21 [土]	三重いのちの電話開局15周年記念 こころのコンサート&講演のつどい	中ホール	13:30開演(13:00開場) 入場無料 認定特定非常利活動法人 三重いのちの電話協会 059-213-3975
21 [土]	平成28年度 消費者月間記念講演会	多目ホール	13:00開演(12:00開場) 予定 入場無料 三重県金融広報委員会 059-246-9002
22 [日]	ベルリンフィルハーモニー管弦楽団メンバーによる 「至高の室内楽」	主催 大ホール	14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般3,000円、学生(25歳未満)1,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
24 [火]	角笛シルエット劇場 「チロヌップのきつね」「つぶえのうた」「すてきな3にんぐみ」	大ホール	10:30開演(10:00開場) 全席指定 団体1,200円(※前売のみ)、一般1,500円(※当日のみ) 劇団角笛 03-3994-7624
24 [火]	第330回例会 劇団民藝 公演 「集金旅行」	中ホール	18:30開演(18:00開場) 会員制 津演劇鑑賞会 059-228-9523(中島)
29 [日]	平成28年度みえ文化芸術祭 みえ県民文化祭 総合フェスティバル	主催 大ホール 中ホール 小ホール 多目ホール	11:00～16:00(予定) 入場無料 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
31 [火]	同窓会コンサート	大ホール	【昼の部】14:00開演(13:30開場)、【夜の部】18:00開演(17:30開場) 全席指定 SS席8,640円、S席7,560円 夢グループ 0570-666-114

## ギャラリーイベント情報

5/21-6/5 [土]~[日]	平成28年度みえ文化芸術祭 第67回みえ県展	主催 ギャラリー1・2	9:30～17:00(最終日は15:00まで) 一般 200円、学生無料 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
------------------	---------------------------	-------------	--

●学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 ●託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(0歳から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 ●クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。)

往...開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 帰...終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 問い合わせ先

主催...三重県総合文化センター主催事業 ●ワンコインコンサート 大ホール 中ホール 小ホール 多目的ホール 1 第1ギャラリー 2 第2ギャラリー

最新のイベント情報はホームページをご覧ください。

三重県総合文化センター イベント 検索

# 6/18 [土] レセプションルーム

## まなびいすとセミナー 写真家 野村哲也が語る イースター島の謎

13:30開演(12:45開場) 入場無料 事前申込制・先着順 定員:200名  
講師:野村哲也(写真家) 申込方法:電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口 三重県生涯学習センター 059-233-1151

世界を巡ってきた写真家・野村哲也がイースター島に何度も足を運んだことで見えてきた、島民にも知られていない「謎」や「隠された聖地」を紹介します。



© TETSUYA NOMURA

# 6/25 [土] レセプションルーム

## まなびいすとセミナー 国立極地研究所、ある海洋生物学者の挑戦 ～ペンギンとマグロとサメの最新科学～

13:30開演(12:45開場) 入場無料 事前申込制・先着順 定員:200名  
講師:渡辺佑基(国立極地研究所 准教授) 申込方法:電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口 三重県生涯学習センター 059-233-1151

野生動物に小型の記録計やビデオカメラを取り付ける「バイオロギング」と呼ばれる革新的な手法を使い、国立極地研究所の若き海洋生物学者が、楽しく紹介します。



© 国立極地研究所

# 伊勢志摩サミット 2016

2016年 主要国首脳会議 三重県で開催!

伊勢志摩国立公園協会

(公財)三重県文化振興事業団は、平成28年5月26日・27日に三重県で開催される伊勢志摩サミットを応援しています。

伊勢志摩サミット 三重県民会議

## 抹茶 + 和菓子

お茶処 なごみ NAGOMI Tea room

営業日 土・日曜(不定期)  
営業時間 11:00～17:00  
場所 三重県総合文化センター内茶室  
TEL 059-233-1105  
季節の和菓子+お抹茶 350円





## 前田憲司

芸能史研究者  
皇學館大学非常勤講師

芸能資料の収集等を通じ、落語を中心に大衆芸能の研究を続ける。また、三重県では地域文化に関連した企画編集者としても活躍。著書・著述やCD・DVDの監修など多数。文化庁芸術祭執行委員、三重県史執筆員。鈴鹿市在住。

Japanese  
traditional culture  
vol.4 Kenji Maeda

## 歌舞伎界

～つながる命脈～

## Classic music vol.4 (最終回)

Mino Kabasawa

## 音楽を聴くとき

～人生を豊かにする時間～

## 加羽沢美濃

作曲家、ピアニスト

東京藝術大学大学院在学中に、日本コロムビアからCDデビュー。作曲家として、数々の曲を発表するほか、『チルソクの夏』『獄に咲く花』等の映画音楽や舞台音楽など話題作を数多く担当している。NHK Eテレ「らららクラシック」総合司会を務めるなど活動は多岐にわたっている。



テレビや催し物などで、司会者が「歌舞伎俳優の中村さんは…」などと言うのを、ときどき見かけます。みなさんは、どう感じますか？

歌舞伎や落語など伝統芸能の世界では、師弟関係で芸が受け継がれ、基本的に師匠と同じ姓を名乗り、名をもらって、初めてプロの芸能者として歩み始めます。どれだけ器用に演じようが、それを生業にしようが、師匠から芸名をもらい一門に加わらないと、正式にプロとして認められません。だから、同じ姓の人がたくさんいるので、名で呼ぶのが当たり前。姓で呼ぶと、妙に感じます。

7月20日総合文化センターで公演の「松竹大歌舞伎」でも、市川は染五郎と高麗蔵、中村は歌昇と壱太郎と二人ずつ出演されます。「市川さん」「中村さん」ではどちらかわかりませんし、歌舞伎全体で市川は63名、中村は102名もいます。他にも片岡、坂東、尾上などの姓をたくさんの方が名乗っています。

同じ公演に出演される嵐橋三郎さんの嵐も由緒ある姓です。しかし現在、嵐を名乗るのは橋三郎さんだけになってしまいました。嵐というと、人気グループを思い出すかも知れませんが、映画のオールドファンなら鞍馬天狗のアラカンこと嵐寛寿郎を知っている方もいると思います。同時代に活躍した市川右太衛門、片岡千恵蔵ら銀幕のスターたちも、実は歌舞伎俳優の流れを汲んでいます。

師弟関係は親子のようなものですから、系図で表すことができ、ことに歌舞伎の場合は血縁でつながる家柄も多くあります。市川染五郎さんの曾祖父である七代目松本幸四郎は三重県東員町出身。明治から昭和初期に活躍し、息子が十一代目市川團十郎、八代目松本幸四郎、二代目尾上松緑、娘婿が四代目中村雀右衛門。この系統が今もつながっており、染五郎はいずれ十代目松本幸四郎となる立場。三重県人が現在の歌舞伎界を支える命脈になっているとは、なんだか誇らしく思います。



昭和舞台姿 七代目 松本幸四郎

### イベントインフォメーション

## 7/20 [水] 松竹大歌舞伎 中ホール

出演者：市川染五郎、市川高麗蔵、中村歌昇、中村壱太郎、嵐橋三郎、ほか  
演目：『ご挨拶』『晒三番叟』『秀山十種の内 松浦の太鼓』『栗餅』

【昼の部】12:00開演(11:30開場) 【夜の部】16:30開演(16:00開場)  
全席指定S席7,000円・A席6,000円  
三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122

### 今年も開催! おすすめレクチャー講座

## 4/24 [日] 楽楽歌舞伎塾

～歌舞伎の楽しみ方～ 多目的ホール

講師：葛西聖司(古典芸能解説者)

14:00～16:00 全席自由1,000円(※当日支払) 事前申込制・先着順 ※座席に余裕があれば当日参加可  
申込方法：電話・郵送・FAX・Eメール・ホームページ・センター窓口  
三重県生涯学習センター 059-233-1151



©松竹

皆さんは、どんな時に音楽を聴きますか？  
元気になる時、やる気を出したい時、泣きたい時、癒されたい時など様々なシーンで音楽に助けられた経験があるのではないのでしょうか？

私も、気分を上げたい時や、一人でリラックスしたい時に、良く好きな音楽を聴いています。このコラムでは、クラシック音楽について、楽器の話、調性(キー)の話、音階の話など幾つかご紹介してきましたが、難しい事はさておき、ベートーヴェンやモーツァルトなどの大作曲家達も私達と同じ、一人の人間です。

彼らが曲を書く時も、出会いや別れ、悩みや迷い、絵画や文学から触発されたり、美味しいものや、素晴らしい景色を見た感動など、心が動いた時に作曲をしているのです。

ですから、皆さんもご自身の生活の中で、心が動いた時、又は心を動かしたい時に、是非音楽に触れてみてください。その時の気分に合わせてセレクトが出来ると、皆さんの人生がより色彩豊かになると思います。

そのセレクトに、今回コラムでご紹介した事がほんの少しでもお役にたてたら、とても嬉しいです。感動のアンテナを沢山持っている事は、素晴らしい事ですから。

私自身も、皆さんの人生にそっと寄り添える音楽を目指して、作品を書き続けていきたいと思っています。

一年間、コラムにお付き合い頂き、ありがとうございました。またどこかで。

### 突撃! 現場レポート

6月・11月・2月と加羽沢美濃さんと共に、オーケストラレクチャー講座を開催しました。なかでも第2回は大ホールを会場に“疑似オーケストラ体験”、“演奏者の極意”をテーマに行き、前半はオーケストラで使用する様々な楽器を生で見て、触って、聴いて、とまるでオーケストラの団員になったような、普段できない体験をしていただきました。後半はファゴット奏者の福井弘康さんをお迎えし、なごやかな雰囲気の中で、演奏家ならではの普段の悩みや努力などのお話しをお聴きいただきました。



ファゴット奏者 福井さんが語る演奏家の極意

### 講座に参加された人の声

- テレビでおなじみの美濃さんのお話を直接お聞きすることができ、とても楽しかったです。自分の好きな曲以外は耳を素通りしていることが多いですが、知らない曲も聞いてみようと思います。このような経験で、自分の世界が少しずつ広がっていくようです。
- とーってもよかったです。今後、とーっても豊かに人生が過ごせそうです。



誕生! 加羽沢美濃オーケストラ

### 速報!! 本年度も開講決定!

## クラシック音楽講座 加羽沢美濃のクラシック入門(仮)

第1回目(2日とも同じ講座内容となります。)

平成28年8月24日(水) 三重県文化会館 小ホール 開場:13:30 開講:14:00  
平成28年8月25日(木) 四日市市文化会館 第2ホール 終了:15:30(休憩なし)

第2回目(昼夜とも同じ講座内容となります。)

平成29年1月17日(火) 三重県文化会館 小ホール  
【昼】開場:13:30 開講:14:00 終了:15:30(休憩なし) 【夜】開場:18:00 開講:18:30 終了:20:00(休憩なし)

※3月1日現在の予定です。日付・時間・場所などは変更の可能性があります。  
三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122

### 新しい事業へ そして未来へ

セントレア(中部国際空港)へ、空と海を結ぶ玄関、津なぎさ街の開業。同じ輸送の未来を見つめた新しい事業に挑戦しています。



株式会社  
日研ハイウェイ  
本社 津市戸水町4857-13  
TEL059(254)5900

### おいしさ直行便!

全国発送を承ります



Meat Shop Asahiya

ISO9001:2008 認証取得

名産 松阪肉

朝日屋

〒514-0031 三重県津市北丸之内20

TEL(代)059-226-2983

FAX 059-225-2983

営業時間 AM9:00～PM6:00 ※水曜定休  
http://www.asahiya.net/

### Orchestrating a brighter world

# NEC

http://jpn.nec.com/

### 三重から世界へ

「最先端技術」と「匠の技」の融合

- 工作機械の製造
- 切削工具の製造
- 工作機械のオーバーホールとレトロフィット



株式会社光機製作所  
TEL514-0112 津市一身田中野8-1  
Tel059-227-5511 Fax059-227-5514  
http://www.hikarikikai.co.jp

DIVERSITY MANAGEMENT SELECTION 2014 100  
2007年 経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」を受賞  
2009年 三重県より「男女がいそいそ働いている企業」選考委員会奨励賞を受賞  
2011年 三重県労働局より「均等・自立推進企業」三重県労働局長優良賞を受賞  
2014年 経済産業省より「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞  
2014年 アジア太平洋経済協力会議より「APEC女性活躍推進企業50選」に選定



セラロBBドリンクライト

### にきび、肌あれに

ヨクイニンエキス配合

アップル風味  
スッカリ  
元気肌

中外医薬 http://www.chugai-iyaku.co.jp

## ZTVでCM 始めませんか?

ここが魅力!

- ① リピート放送で繰り返しPR!
- ② リーズナブル
- ③ 地元密着で視聴者の反応が速い!

放送エリアも選べる

料金のいろいろ

詳しくは  
お問い合わせください

お問い合わせ  
CM担当まで  
TEL 0120-222-505

株式会社 ZTV

三重県総合文化センター内のお店、アートショップMikkeでは、すべてのお客様が「いいもの」を「みつけ」られる、親しみやすく愛されるお店を目指しています。

Mikke×伝統工芸×常若

## #Mie Traditional. 2016 1/13~5/29

現在、Mikkeでは三重の伝統工芸フェア「#MieTraditional.」を開催中です。一刀彫・根付・漆芸・伊勢型紙など三重の伝統工芸職人の作品がMikkeに集まりました。今回は、三重の伝統工芸フェアにご協力いただいている若手職人グループ「常若」の皆さんをご紹介します。

常若(とこわか)とは、三重を中心に活動している伝統工芸を担う若手職人達のグループで、伊勢一刀彫・根付・伊勢型紙・漆芸など現在6人の職人が所属しています。「ともに切磋琢磨し合うことで新しい伝統工芸の可能性を模索すること」、「職人同士の交流機会・仲間づくりや社会における職人の地位向上」を目的に活動しており、グループでの合同展示会や伝統工芸に触れる体験会の開催などを通じて伝統工芸の魅力を伝える活動を行っています。

Mikkeでは一刀彫の縁起物グッズや細密に彫られた根付商品、彫られた伊勢型紙で絹に染めつけられた小紋柄の風呂敷など、様々な伝統工芸品を展示販売しています。



漆芸 村上 麻紗子    根付 大真    伊勢型紙 那須 恵子    一刀彫 中野 結衣    根付 平 泰平    根付 明日香

### 新作続々登場! 伊勢型紙アクセサリ

#MieTraditional.に合わせて、三重の伝統工芸「伊勢型紙」の彫刻技法を使ったかわいいアクセサリもMikkeに登場します。伊勢型紙がエレガントなネックレスやイヤリングに! 自分へのご褒美として、大切な方への贈り物として、ぜひご活用ください。

製作者: 彫りもん屋 今坂千秋(伊勢型紙彫師)

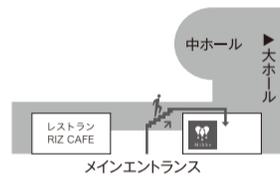


### 企画展「常若」(仮称)

関連企画として、4月下旬より約一か月間、県立図書館2階文学コーナーで、作品展示・常若の活動内容紹介などを行います。詳しくは、三重県立図書館企画総務課(059-233-1181)までお問い合わせください。

### アートショップ Mikke

営業時間 10:00~19:00  
TEL059-236-3391  
定休日 センターの休館日に準じます



- 事業協賛会員
- 公益財団法人岡田文化財団
  - 百五銀行 FRONTIER BANKING
  - 第三銀行グループ
  - 赤塚植物園グループ
  - 三重県協同組合連絡協議会 (JA・漁協・労福協・中小企業団体中央会)
- 一般協賛会員
- モクモク手づくりフレーム
  - 三重県舞台管理事業協同組合
  - カヤシステムマシナリー株式会社
  - 住友電装
  - 国際警備保障株式会社
  - NEC
  - 三重テレビ放送
  - 三重電業株式会社
  - チカガワ
  - 宮崎本店
  - 中部電力株式会社
  - 三重銀行
  - 昭永工業株式会社
  - 岡三証券株式会社
  - 三重交通株式会社
  - 日本トランスシティ株式会社
  - 東芝エルティーエンジニアリング株式会社
  - 三重県信用金庫協会
  - 三重県信用保証協会
  - 鈴鹿医療科学大学
  - 株式会社野田米菓
  - 公益財団法人三重県健康管理事業センター
  - 株式会社ダイケングループ
  - 井村屋グループ株式会社
  - 株式会社日硝ハイウエー
  - 伊藤印刷株式会社
  - 朝日屋
  - 岩間造園株式会社
  - 株式会社東洋軒
  - 学校法人 皇學館
  - 三重県職員信用組合
  - GE 学研エデュケーション・グループ
  - ホテルザ・グランコート津西
  - アスカワ 製菓
  - レディオキューブFM三重
  - 株式会社光機械製作所
  - ZTV
  - 医療法人 誠仁会 塩川病院
  - 有限会社江藤電設
  - 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
  - 株式会社中山工務店
  - コジロ鑑定調査株式会社
  - 生活協同組合 コープみえ
  - 放送大学三重学習センター
  - 株式会社 ミヤムラ
  - 近畿ビルサービス株式会社
  - 赤塚植物園
  - Cotti 菜
  - 株式会社 鈴工
  - 中外医薬
  - 東海商事

3月1日現在の予定です。フェアの情報は変動することがございます。ご了承ください。

## ワンコインコンサート

「ランチタイム」に「1時間」  
「500円」で楽しむカジュアルコンサート

全席自由 チケットレス

11:30開演(10:45開場)  
圓文化会館 059-233-1122  
共催:レディオキューブFM三重

大ホール

500  
ワンコインコンサートの前編  
500  
ワンコインコンサートの後編

vol.67  
5/19 [木]  
コントラバス  
石川 滋



vol.68  
6/22 [水]  
ピアノ  
アレクサンデル・ガジェヴ



### チケット発売日情報

7/20 [水] 松竹大歌舞伎 【昼の部】12:00開演、【夜の部】16:30開演 全席指定 S席7,000円、A席6,000円	8/6 [土] 子どものためのシェイクスピア「オセロー」 17:30開演 その他詳細未定
シアターメイツ優先予約 4/7 [木] 一般発売 4/10 [日]	シアターメイツ優先予約 5/26 [木] 一般発売 5/29 [日]
7/23 [土] 飯森範親指揮 日本センチュリー交響楽団三重特別演奏会 15:00開演 全席指定 S席4,500円、A席3,500円、B席2,500円	9/2 [金] 田中彩子ソプラノリサイタル 「華麗なるコロラトゥーラとウィーンの調べ」 18:30開演 全席指定 S席5,000円、A席4,000円(当日500円増)
シアターメイツ優先予約 4/14 [木] 一般発売 4/19 [火]	シアターメイツ優先予約 6/2 [木] 一般発売 6/5 [日]
7/31 [日] 東京バレエ団 こどものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」 15:00開演 全席指定 一般4,000円、4歳~中学生以下2,000円	9/10 [土] 京響創立60周年記念ツアー 京都市交響楽団 三重公演 16:00開演 全席指定 S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円
シアターメイツ優先予約 4/28 [木] 一般発売 5/1 [日]	シアターメイツ優先予約 6/9 [木] 一般発売 6/12 [日]

【ご予約・お問い合わせ(10:00~19:00)】  
三重県文化会館 チケットカウンター ☎059-233-1122

【WEBチケット購入(24時間受付)】  
三重県文化会館 WEBチケットサービス エムズネット  
https://www3.center-mie.or.jp/tickets/

※ご利用いただくには、会員登録が必要です。  
※当センターのチケットカウンター、またWebサイトでお取扱いのないチケットもございます。  
詳細はチケットカウンターまたは主催者さまへお問い合わせください。

ご注意ください  
※掲載している催し物は3月1日時点の内容です。日時・内容が変更される場合があります。また本紙発行時点でチケットが完売の場合もございます。ご了承ください。



- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分  
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車  
バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分  
タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分  
自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分  
※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分  
※無料駐車場(約1,400台)があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)  
※チケットカウンター、アートショップMikke(みつけ)、レストランRIZ CAFEは10:00~19:00、カフェコーナーは8:50~18:30、カフェレストランCotti菜(こっちな)は9:00~17:00

## NEWS

エムニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター館内、三重県庁・市町役場・市町図書館、三重県内公共文化施設、びあスポット・チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記の他にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様にも配布のご協力をいただいております。

MIE CENTER FOR THE ARTS  
三重県総合文化センター 〒514-0061 三重県津市一身上津部田1234  
☎059-233-1105 FAX059-233-1106

三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレんてみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。

● 休館日のご案内  
毎週月曜日(その日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の平日)  
12月29日~1月3日  
県立図書館のみ月末日及び特別整理期間も休館  
県立図書館 TEL059-233-1180 http://www.library.pref.mie.lg.jp/

● 県立図書館休館日カレンダー(■は休館日)

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7							
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		